

講義名称	幼児教育実習Ⅰ<3年>
開講責任部署	大学
講義区分	実習
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	3年後期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども教育保育学科（4）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24200381

## 担当教員

氏名	所属
◎ 齋藤 修啓	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
松下 高信	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
永坂 晃子	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
岡部 智子	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
枝村 美夏	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
木谷 葉子	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科
川邊 音生	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科

授業概要	目的意識を常に意識しながら、幼稚園における指導と援助の実際を体験し、保育技術を高めるとともに、一人の人として如何に「人」と関わるか、という保育者としての適正を探る。
到達目標	卓越した専門の保育技術を持つ幼児教育者を目指し、机上の学問だけでなく、実際の子どもと関わることから、理論と実践の結びつきを図る。また、子どもと生活を共にすることで、一日の流れと保育者の職務内容を理解する。

## 授業計画表

### 授業計画表

	<b>【授業計画】</b>
	時期：3年次後期に実施する。 期間：幼稚園にて、12日間の連続した実習を実施する。但し、実習園の都合により連続できないこともあり得る 条件：①幼児教育実習指導を受講していること。 ②実習園でのオリエンテーションに参加する。 ③事前体験学習を行い、実習園の行事、対象年齢、実習計画と実習生の実習計画との整合性を図る。 ④実習園の教育方針に従い、適正な実習に努める。 ⑤自己の課題を明確にし、課題に沿った実習計画を立てる。 ⑥養成校の教員による巡回指導を受ける。 ⑦実習終了後、養成校にて行われる「振り返り」に参加する。
第1回	
	<b>【事前事後学修の内容】</b>
	①幼稚園における保育の概要を学ぶ。 ②保育実習からの自己課題を明確にする。 ③幼児教育実習指導を受講し、課題に適切に取り組む。

履修に必要な予備知識や技能	幼児教育実習指導の受講。自己課題の明確化、実習計画の綿密な立案。
課題に対するフィードバック	事後指導を通して、実習での課題に関するフィードバックを行う。
評価方法・基準	実習内容80%（うち実習園からの評価45%）、実習記録と総括レポート20%。

教科書	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説、実習テキスト。
実務経験の内容・期間	幼稚園教諭（岡部智子22年）、保育教諭（川邊音生2年）